



運動会お世話になりました

保護者・地域の皆様が大勢見守る中で、子どもたちは、元気いっぱい演技することができました。閉会式まで真剣な態度で取り組んだ子どもたちは、やり切った満足感と素晴らしい思い出を得ることができました。子どもたちの成長を感じた運動会でした。

保護者の皆様には、前日の準備、当日の応援、PTA種目等への出場、そして最後の片付けまで、ご協力ありがとうございました。



(心を一つに最後まで集中した「鬼怒小ソーラン」)

～ 子どもたちの感想から ～

「みんながきんメダル」で、へいきんだいのところでは、さいごだったのに、2いになりました。すごうれしかったです。ママも、わたしが2いになったのでうれしくてないていました。

(1ねん ほし あやね)

これまでで一番心に残った運動会でした。白組の団長として思いっきり競い合い、白組が優勝したからです。また、運動会の日、ぼくの誕生日でした。素敵なプレゼントをもらいました。

(6年 高橋 唯人)



(力の入った大勝負「女子騎馬戦の王将戦」)

10月12日 避難訓練を実施しました

今回の避難訓練は予告なしで実施しました。業間の時間でしたが、地震発生、そして給食センターから火災発生の緊急放送に、一人一人が考えて行動し避難することができました。

その後、藤原消防署の皆さんにご指導頂き、救急車見学、救助工作車見学、水消火器体験、煙体験を行いました。

寒くなると、火を使うことが多くなると思います。一酸化炭素中毒や火遊びによる火災などで、大切な命を危険にさらすことのないよう、ご家庭でもご注意ください。



(3・4年生の救助工作車見学の様子)

テントの寄贈ありがとうございました

平成20・21・22・23年度の卒業学年と平成24・25年度の卒業予定学年からの寄付金にPTA特別会計からの補助金を加えて、テントを2張購入していただきました。さっそく今年度の運動会で児童席用として利用させて頂きました。これからも学校行事等で、大切に使用させて頂きます。



藤P親善ソフトバレーボール大会に大勢参加

10月12日午後6時から、本校体育館で単P対抗親善ソフトバレーボール大会が実施されました。本校の参加者は、保護者と職員合わせて32名でした。結果は4位でしたが、多くの皆さんに試合に出て頂き、楽しく親睦を深めることができました。ご協力ありがとうございました。



6年生が中学生と一緒に清掃活動を実施

10月11日の午後、藤原中の1・2年生と本校の6年生と下原小の6年生と一緒に、藤原中学校区内の清掃活動を実施しました。本校児童は、鬼怒川公園駅から高尾神社までの通学路清掃班、鬼怒川公園清掃班、鬼怒小周辺通学路清掃班の3班に分かれて活動しました。当日は、地域のボランティアの皆さんも参加してくださいました。

今回の奉仕活動は、小中が連携して行っている心の教育の一環として実施したものです。中学校と連携して、規範意識の高い、思いやりの心を持った子どもを育てていきたいと思ひます。

旅行者の方から嬉しい話がありました

下校指導で鬼怒川公園駅まで子どもたちを送って行った帰りに、2人組の中年女性と挨拶を交わしました。私が鬼怒小の教員であることが分かると、「東京から泊まりに来ました。今、露天風呂に入って、これから帰るところなの、ここの子どもさん達が元気に挨拶をしてくれました。すばらしいお子さん達ですね。また、遊びに来ます。」と言われました。「ありがとうございます。気をつけてお帰りください。また、来てくださいね」と言いながら、とても嬉しくなりました。

秋晴れの中で ふれあいウォーキング

10月14日（日）に行われた第7回ふれあいウォーキングに、本校から15名の児童が参加しました。爽やかな秋晴れの中を、旧鶏頂山スキー場から鶏頂山の山頂まで約2時間登りました。鶏頂山は、本校から高原山を見ると一番西側に見える美しい山です。高原山は、本校の校歌にも出てきます。途中、急斜面や岩場など、きつい所もありましたが、参加した1年生3名をふくむ全員が山頂まで自力で登ることができました。一生忘れられない思い出になりました。スタッフ・ボランティア・一緒に登った保護者の皆様ありがとうございました。



鶏頂山の山頂で「はいポーズ」

星野美穂先生が「とちぎ教育賞」受賞

これまでの熱心な学級経営や吹奏楽部の指導等が認められ、10月11日に栃木県教育委員会から表彰を受けました。本校職員から受賞者が出たことは大変嬉しいことです。これからも教職員が一致協力して、子どもたちのよりよい成長を支えて行きたいと思ひます。

～受賞者の星野美穂先生から～

受賞の知らせを聞き、今まで巡り会った子どもたち、保護者の皆さん、先生方、家族の顔が、次々と浮かんできました。多くの方との出会いが、今の自分につながっていることを、あらためて感じています。これからも感謝の気持ちを忘れず、子どもたちと共に歩んでいきたいと思ひます。